



〈連載(328)〉

35年ぶりの地中海クルーズ (その4)



大阪経済法科大学・客員教授
池田 良穂

丸一日無寄港で西地中海を東から西に縦断した「MSCメラビア」は、クルーズ5日目の朝に、スペインのバルセロナ港に入港した。ここはマドリードに次ぐスペイン第2の都市であり、経済的にも豊かなカタルーニャ地域の中心都市で、スペインからの民族独立を目指していることでも時々ニュースになっている。

港は地中海クルーズの主要ハブになっており、さらに地中海の島々へのフェリーの基地としても機能しており、毎日たくさんの客船が出入りするビジーポートであり、シップウォッチングを愛好する筆者にとっては、今回のクルーズ寄港地の中でも最も期待していた港である。

バルセロナの港外で日の出となり、すぐ後ろにはコスタクルーズの大型クルーズ客船「コスタ・フォーチュナ」が続いており、AISでチェックしてみると港内にはNCLの「ノルウェー・ジュエル」が着岸していることが確認できた。港外でパイロットが乗船し、港口にゆっくりと向かう。1万TEU積みのMSCの大型コンテナ船と反航して、いよいよ港に入る。バルセロナ港は海

岸線に沿って作られた長い防波堤の内側に細長く伸びた港で、西の港口から入って一番奥にあるクルーズターミナルに着岸した。このターミナルは防波堤の内側に建設されており、陸側とは1本の橋で繋がれている。



バルセロナ港への入港時にはクルーズ客船「コスタ・フォーチュナ」が後ろに続いていた。



入港直前にMSCの超大型コンテナ船と反航した。



港からロープウェイで丘に登るとバルセロナ港全景が見渡せる。



バルセロナ出港時にはたくさんの旅客カーフェリーと反航した。

港口近くには大きなコンテナターミナルがあり、その奥にあるRORO貨物船およびフェリーのターミナルでは、たくさんの船が停泊して荷役が行われていた。

上陸して、連絡バスで橋を渡り、港の中心的シンボルとなっている貿易センタービルからロープウェイで小高い丘の上の城砦に上ると港の全景が見渡せた。まさに絶景だ。

夕刻の出港時には、たくさんの旅客フェリーと反航し、その姿をカメラに収めることができた。

この日の食事は、現代的サーカス「シルク・ドゥ・ソレイユ」を観ながらの夕食を

楽しんだ。有料レストラン兼劇場だが、たいへん満足できるディナーを楽しむことができた。MSCのクルーズ客船には「シルクド・ソレイユ」のための施設を設けられており、定期的に公演が行われている。

クルーズ6日目に、最後の寄港地であるフランスのマルセイユ港に到着した。西の港口から入ってすぐの所に大きなクルーズターミナルができており、大型クルーズ客船が4～6隻同時着岸できる巨大な規模のものだった。このように欧州の各港は、クルーズ客船の受入施設の整備に余念がない。

このクルーズターミナルは、港内でも西の外れにあるため、市街地までは結構の距離があり、キャビンに配られていたアクセスバスの案内には所要時間が約30分であった。このアクセスバスは1人18ユーロで、配られたチケットにサインして乗り場でわたすと利用でき、料金は他の船上での支払いと一緒に請求されるというシステムだった。便利でいいのだが、値段が若干高いように思ったのと、港内に停泊するフェリー群を自由に見てまわるためにはタクシーの方が便利なので、ターミナルに待機していたタクシーの乗り込み、港に沿った道路を通ってもらって旧港に向った。所要時間はわずか約15分で料金も17ユーロと安かった。途中、港内にはたくさんのフェリーが停泊していることが確認できた。

マルセイユの旧港を訪れたのは40年ぶりだったが、再開発が進んでいて綺麗になり、観光客で一杯だった。近くのフェリーターミナルに停泊するフェリー群の撮影をした後、旧港のまわりを散策した。旧港には、漁師が捕れた魚を売る屋台が並び、市民で

賑わっていた。また港のまわりにはたくさんのレストランが並び、はげしい客引き合戦が繰り広げられていた。そんな客引きと交渉しながら1軒のレストランを選び、名物料理ブイヤベースの昼食を楽しんだ。

船は、夕刻にマルセイユ港を出港してジェノア港へ向かった。期待していた出港時には、行きかう船との出会いはほとんどな

かった。

翌朝、1週間ぶりにジェノア港に戻り、港の近くのホテルに2泊してシップウォッチングを楽しんだ。

こうしてたくさんの船に出会い、快適なクルーズも楽しめた素晴らしい欧州旅行が終わった。



マルセイユ港に造られていた巨大なクルーズ客船ターミナル。



旧港の一面には、漁師が魚介類を売る露店が並び市民が集まっていた。



マルセイユの広いフェリーターミナルにはたくさんの旅客カーフェリーが停泊していた。



旧港の周りに並ぶレストランで地中海名物料理ブイヤベースを楽しんだ。

